



三菱設備用ロスナイ 〈床置ビルト<mark>イン形 加湿付</mark>〉

取扱説明書

お客様用

形名

LB-150KX5-50 (3相200V 50Hz)

LB-150KX5-60 (3相200V 60Hz)

LB-200KX5-50(3 相200V 50Hz)

LB-200KX5-60 (3 相200V 60Hz)

もくじ ページ

お使いになる前に

使いかた

使いかた…… 8~15

お手入れ・困ったとき

お手人れ 16~	19
保守点検20~2	23
「故障かな?」と思ったら … 24 ~ 2	25
アフターサービス	26
仕 様	27

- ★ご使用の前に「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ★お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「三菱電機 ご相談窓口・ 修理窓口のご案内(冷熱品)」とともに大切に保管してください。
- ★ お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。 This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

特長

最近の建物は気密性が高く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。 その反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生などで健康を害したり、壁・ 天井の汚れのもとになるカビ・ダニの発生につながります。

そこでロスナイによる換気が必要になります。

ロスナイは……室外の空気を室内の温・湿度に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します。

一 主な特長

1	強_制	同時	給排な	ので	強制同時給排機能によってきれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排
	新	鮮	空	気	強制同時給排機能によってきれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排 気します。だから室内の空気は新鮮です。

	ロスナイエレメントの働きで			動きで	ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、
2	快	適	温	度	暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。

0	熱ロスが少ないから	室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱口ス
3	省 エ ネ	が少なく冷暖房費も節約できます。

- 特殊構造により

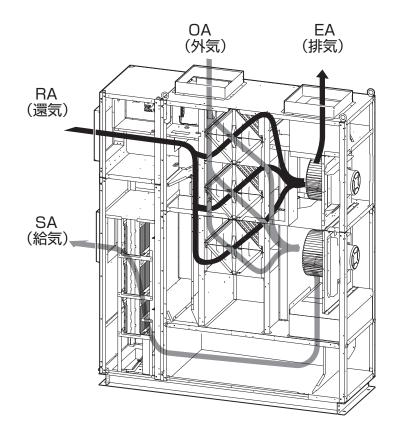
 防音効果
 室外騒音の侵入を防ぎ、室内音の音もれを抑えます。
- 適下気化式加湿エレメントによる 滴下気化式加湿エレメントを採用。 快 適 な 加 湿 常に新鮮な水を供給し、快適な加湿空気を室内に供給します。
- 柱と柱の間に納まる
 柱と柱の空間に納まる省スペース床置形ですので、天井裏への製品施工が

 省スペース
 ス

 不要です。

― 「ロスナイ換気」と「普通換気」とは

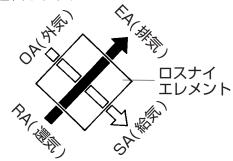
※図はLB-150KX5-50を示す。



●「ロスナイ換気」とは……

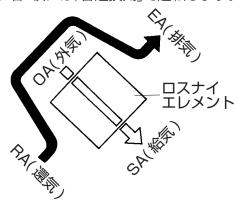
室内空気をロスナイエレメントを通して室 外に排気します。熱交換された外気が室内 に供給されます。

冷暖房をしている夏・冬には「ロスナイ換 気」で運転します。

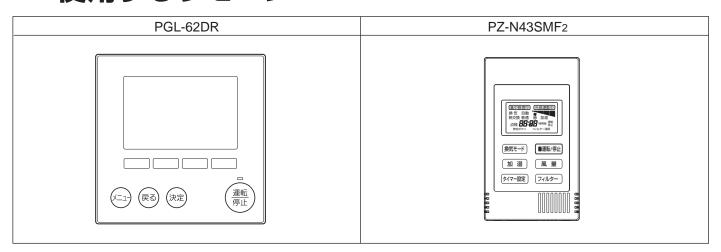


●「普通換気」とは……

室内の汚れた空気をロスナイエレメントを 通さずそのまま排気します。熱交換を必要 としない春·秋には「普通換気」で運転します。



使用するリモコン=



安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 次の表示で区分して説明しています。



誤った取扱いをしたときに死亡や重 傷などに結びつく可能性があるもの



誤った取扱いをしたとき、軽傷または家 屋・家財などの物的損害に結びつくもの ■ "図記号"の意味は次のとおりです。



禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



指示に従い必ず行う



水ぬれ禁止



アース線を 必ず接続せよ

●ご使用時



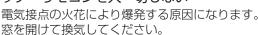
長時間直接お肌に風をあてない 健康を損なう原因になります。



殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない 火災・変形の原因になります。

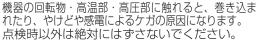


可燃性ガスが漏れた場合はコントロールスイ ッチ・リモコンを入・切しない





パネルやガードを取りはずさない





分解禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない 特にお子様にご注意を!





禁止

因になります。

直接風のあたる場所に燃焼機器を置かない 不完全燃焼の原因になります。製品が燃焼器具 の熱で変形することがあります。



禁止

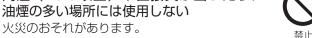
機械および化学工場など酸・アルカリ・有 機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を 含んだガスが発生する場所には使用しない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になりま



す。



高温(40℃以上)や直接炎が当ったり、 油煙の多い場所には使用しない





制御容量

定格電圧、制御容量範囲で使用する

間違った電圧で使用すると火災や感電の原因に なります。



お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカー を切る

お手入れ中に保護運転がはたらくのを防ぐた め。通電状態では感電やけがをすることがあり



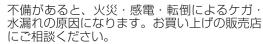
清掃およびメンテナンス作業時には運転を 止め、必ず分電盤のブレーカーを切る

ファンおよびファンモーターへの接触によるケ ガや感電の原因になります。



電源を切る

お客様自身で分解・据付け・修理・移設・ 廃棄はしない





分解禁止

製品およびリモコンを水洗いしない

製品およびリモコン内部に水が浸入して絶縁不 良になり、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない 感電の原因になります。





異常時(異臭・異音・振動大など)は 運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の 原因となります。また、リモコンにエラーコー ドが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場 合もお買い上げの販売店にご連絡ください。



長期間使用しないときは、必ず分電盤のブ レーカーを切る



絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になりま

燃焼機器と一緒に使うときは、こまめに換 気する



酸素不足の原因になります。

凍結のおそれのある地域では、給水配管に 必ず凍結防止工事を行う



給水電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因 になります。

注意

製品付近に濡れて困るものを置かない

多湿 (湿度80%以上) 時の長時間運転により 水が漏れ、家財などを濡らし汚損の原因になり ます。



冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」 で運転しない

本体から結露水が漏れ、床面を汚すおそれがあ ります。



直接風のあたる場所に動植物を置かない 動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



給気口の下方に食品や食器を置かない

ホコリ・錆や白粉等の異物が食品に落ちますと 汚損などの原因になります。



室内を薬品消毒したあとには必ず換気をする。 薬品および薬品から発生したガスを十分排気してから、 ロスナイを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸込んだりするとロスナイの腐食、変形の原因に なります。



室内を薬品消毒するときはロスナイを停止する。 また、薬品が付着しないようにシートなどで覆う

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐 食、変形の原因になります。また、薬品が飛散 し危険です。



電源を切る

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに 使用しないでください。品質低下の原因になり ます。



フィルターなどの着脱のときは不安定な台 に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。



据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが転倒し、ケガなどの原因になります。



禁止

湿度を上げすぎて使用しない

過加湿になると結露し、建物自体を傷める原因 になります。



禁止

フィルターの着脱には、保護具(メガネな ど)を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。



保護具着用

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う 落下によりケガをすることがあります。



取付け

お手入れの際は手袋を着用する

着用しないとケガの原因になります。



手袋着用

安全のために必ず守ること

●据付け時

警告

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下 になる場所、または直射日光があたる場所、 湯・油・蒸気が飛散しリモコンにかかる所 には取付けない



可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのお それのある場所へは据付けない

ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・ 爆発の原因になります。



製品は、堅固な場所に水平にしっかりと固 定されていること



ユニットの転倒などによりケガの原因になりま

使用される別売部品は当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。 お客様ご自身で取付け不備があると、感電・火

災・水漏れなどの原因になります。お買い上げ

の販売店にご依頼ください。

アース工事(D種接地工事)を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話の アース線に接続されていないこと。アースが不 完全な場合は、感電の原因になります。



-ス線を 必ず接続せよ

元電源の取付位置を確認する



元雷源

据付けは、お買い上げの販売店または専門業 者にご依頼ください



据付け

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電・火災の原因になりま



漏電遮断器

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮 断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正 しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使 用すると、火災・故障の原因になります。



別売部品

注意

●次の場所への据付けは避けてください

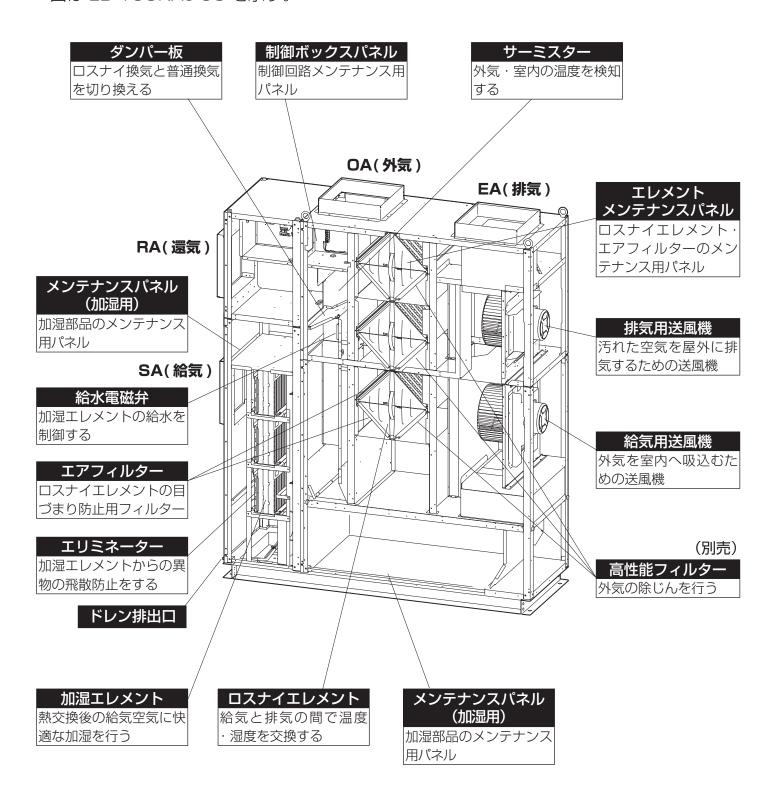
本体が腐食したり、性能が著しく低下したり、部品(ロスナイエレメント等)が早期に破損や故障することがあります。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 車輌・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 油煙がたちこめるところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

「据付け時の警告、注意については、設備用ロスナイの」 ∖据付工事説明書をご覧ください。

各部のなまえとはたらき

※図は LB-150KX5-50 を示す。



使いかた

警告

濡れた手で電源スイッチを操作しない 感電の原因になります。

/ 注意

冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しない 本体から結露水が漏れ、床面を汚すおそれがあります。

- 暖房時、製品本体の結露防止のため必ず「ロスナイ換気」で運転してください。外気が8℃以下で自動的に「ロスナイ換気」となります。
- 冬期 (加湿時期) に、凍結するおそれのある地域では必ず凍結防止用のヒーター (お客様手配) の電源を入れてください。
- 加湿準備運転

加湿運転開始時、給気送風機を約5分間自動停止します。(加湿エレメントを湿らせ、加湿の立ち上がりを早くするために行います)

- ※排気送風機は自動停止しません。
- 加湿エレメント乾燥運転
 - ①運転停止後、加湿エレメントが湿った状態で放置されることを防ぐため自動乾燥運転を行います。

開始時期: 運転終了から5分後

乾燥時間: 最大3.5時間

②連続運転等で加湿エレメントに乾燥運転が累積25時間行われなかった場合、加湿エレメントへの給水を一時停止し、自動乾燥運転を行います。

乾燥時間: 最大3.5時間

- ※外気(OA)温度が極端に低いときなど乾燥運転に適さない場合は、一時的に乾燥運転を中断します。
- ※電源発停機能を使用して製品が停止中は、加湿エレメント自動乾燥運転機能が働きません。加湿エレメントを湿らせたまま放置すると腐敗臭が発生するおそれがあるため加湿運転を停止させ、手動で加湿エレメントの乾燥を行ってから運転を停止してください。
- 加湿電磁弁凍結防止機能

電磁弁の凍結を防止するために加湿付口スナイが停止後(45分経過)、OAサーミスター検出温度が-3℃未満の場合に排気ファンを間欠運転させ、室内側の熱によって電磁弁の凍結を防止します。

メモ>

● 加湿運転中は水がドレン排出口より排水されます。

お願い

● リモコンを先がとがった物で押さないでください。故障の原因になります。

ジーニアスリモコン(PGL-62DR)を使用する場合

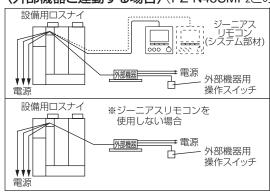
空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で、使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

●ジーニアスリモコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

〈外部機器と連動しない場合〉(PZ-N43SMF2との併用はできません)

システム例	操作	機能説明
設備用ロスナイ ジーニアスリモコン (システム部材) 電源	ジーニアスリモコンで運転 させます。	●2台のジーニアスリモコンを接続してい るとき、後押優先となります。

〈外部機器と連動する場合〉(PZ-N43SMF2との併用はできません)

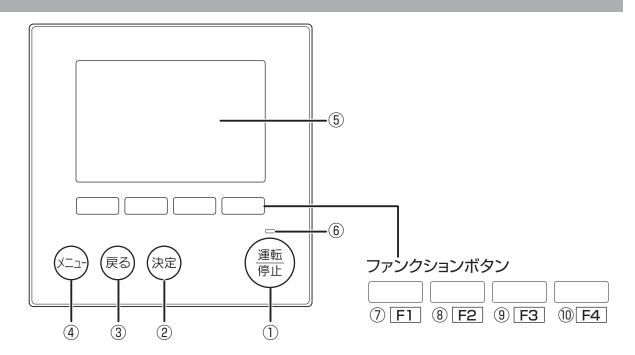


外部機器用操作スイッチで 「運転」または「停止」させ ると自動的にロスナイも 「運転」または「停止」しま す。

- ●外部機器用操作スイッチとジーニアス リモコンは後押優先です。
- ●外部機器停止中にロスナイのみ運転したい場合はジーニアスリモコンで運転させます。
- ジーニアスリモコンを使用しない場合、換気モードは「自動切換」になります。

使いかた つづき

操作部



① 運転 / 停止 ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

② 決定 ボタン

設定の決定をします。

▮ ③ 戻る ボタン

前の画面に戻ります。

| ④ メニュー ボタン

メインメニューを表示します。 メインメニュー画面表示時はメイン画面に戻り ます。

⑤液晶表示部(バックライト付)

運転内容を表示します。

バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン 操作は効きません。

バックライトのみ点灯します。 (運転/停止ボタンは除く)

⑥運転ランプ

運転中・ナイトパージ運転中は、緑色に点灯 します。

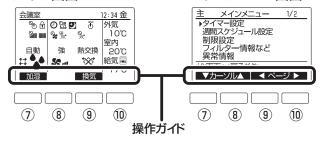
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作 が変わります。

液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してく ださい。

集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。





フファンクションボタン F1

メイン画面:加湿モードを切り換えます。 メインメニュー画面:カーソルが下に移動します。

8ファンクションボタン F2

メイン画面:表示しません。

メインメニュー画面:カーソルが上に移動します。

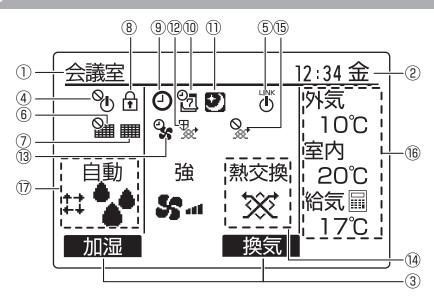
⑨ファンクションボタン F3

メイン画面:換気モードを切り換えます。 メインメニュー画面:前のページを表示します。

⑩ファンクションボタン F4

メインメニュー画面:次のページを表示します。

表示部



たの表示例は説明のため、全ての表示が点灯の状態を示したもので、実際とは異なります。

①リモコン名表示

リモコンの名前を表示します。 (異常猶予中は4桁のコードを表示します)

②時刻曜日表示

現在の時刻曜日を表示します。

③操作ガイド

ファンクションボタンの機能名を表示します。

【 ④ ^QI∫表示

運転/停止操作が集中管理中のときに表示します。

⑤ (l) 表示

外部機器と連動運転中に表示します。

■表示

メンテナンスリセット操作が集中管理中のときに 表示します。

⑦ | 表示

15ページ

エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのお手入れ時期になると表示します。

▮⑧ 傦 表示

操作ロック設定が有効のときに表示します。

9 🕘 表示

オン/オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。

⑩ ② 表示

週間スケジュール設定が有効のときに表示します。

1 (ジーニアスリモコンの取扱説明書を参照)

ナイトパージ設定が有効のときに表示します。

| ⑫ 駅 表示

機器を保護する運転中(加湿準備運転、加湿エレメント乾燥運転、加湿電磁弁凍結防止等)に表示します。

13 😪 表示

遅延運転中に表示します。

⑭ 🂢 表示

換気モードの状態を表示します。

□ □ □ 表示

外部から換気モード操作中に表示します。

| ⑯温度表示

製品内で検知した外気温度、室内温度、給気温度(加湿部手前側計算値)を表示します。

※外気温度表示は0℃以下および38℃以上で点滅します。

室内温度、給気温度(計算値)表示は8℃以下および38℃以上で点滅します。

⑪加湿表示

加湿モードの状態を表示します。

使いかた つづき

操作手順

〈通常の運転〉

操作項目	操作部	手 順
①運転開始	運転ランプ・運転停止	運転/停止 ボタンを押す。 運転ランプ (緑) が点灯
②加湿モード切換	F1 F2 F3 F4	F1 ボタンを押すごとに 「自動」→「運転」→「停止」の順に変わります。 自動 運転 停止 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は
③風量	「強」風量固定です	強 Sg
④換気モード切換	F1 F2 F3 F4	F3 ボタンを押すごとに 「熱交換換気」固定→「普通換気」固定→「自動換気切換」の順に変わります。 「熱交換換気」「普通換気」 自動換気切換 固定 は
⑤運転停止	運転ランプ ・ 運転 停止	運転/停止 ボタンを押す。運転ランプが消灯■外部入力優先中は停止操作ができません。

- ※ナイトパージ運転中に停止させる場合は

 運転/停止

 ボタンを押して一旦運転操作した後、2分以上経過後に再度

 運転/停止

 ボタンを押してください。
- ※運転停止操作のため

 運転/停止

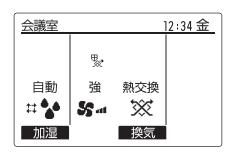
 ボタンを押した後、保護運転アイコン

 ・が表示される場合があります。アイコン

 表示中は機器保護(11ページ参照)のために送風機が継続運転します。保護運転終了後、アイコン表示が消えます。
- ※冷風侵入により加湿部が凍結破損、結氷により水漏れする可能性があります。低外気温度時に加湿運転をする際は、 室内暖房運転と併用してご使用ください。

加湿運転の使いかた

加湿準備運転



加湿運転開始時、給気用送風機を自動停止します。

(加湿エレメントを湿らせ、加湿の立ち上がりを早くするために行います)

- ※加湿準備運転中、給気用送風機は約5分間停止します。
- ※排気用送風機は停止しません。
- ※ジーニアスリモコン使用時、加湿準備運転中は数アイコンを表示します。

以下の場合、加湿準備運転は実行されません。

- ・加湿運転しない
- ・加湿準備運転を実施から24時間以内
- · 試運転中

加湿エレメント乾燥運転

加湿運転(給水電磁弁ON)中に製品を停止 させた場合、停止から5分後に最大3.5時間 の乾燥運転を行います。

製品停止



加湿停止状態で運転した後に製品を停止させた場合、乾燥運転時間は加湿停止状態で運転 した分だけ差し引かれます。



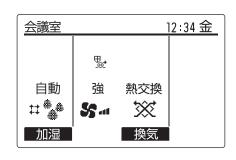
運転停止後、加湿エレメントが湿った状態で放置されるのを 防ぐために自動で乾燥運転を行います。

開始時期:運転終了から5分後

乾燥時間:最大3.5時間

- ※ジーニアスリモコン使用時、加湿エレメント乾燥運転中は 製プアイコンを表示します。
- ※外気(OA)温度が極端に低いときなど乾燥運転に適さない場合は一時的に乾燥運転を中断します。

2



※電源発停機能を使用して製品が停止中は、加湿エレメント自動乾燥運転機能が働きません。加湿エレメントを湿らせたまま放置すると腐敗臭を発生するおそれがあるため、加湿運転を停止させ、手動で加湿エレメントの乾燥を行ってから運転を停止してください。

連続運転等で加湿エレメントの乾燥運転が累積25時間行われなかった場合、加湿エレメントへの給水を一時停止し、自動で乾燥運転を行います。

※ジーニアスリモコン使用時、加湿エレメント乾燥運転中は サンフィコンを表示します。

乾燥時間:最大3.5時間

- ※乾燥運転中は換気モード、加湿モードの表示が製品動作と 一致しない場合があります。例えば、加湿モード表示が「運転」でも、乾燥運転中は給水電磁弁が OFF となります。
- ※乾燥運転中に加湿運転(給水電磁弁ON)となったときは、乾燥運転時間はクリアされます。

使いかた つづき

2 ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF2)を使用する場合

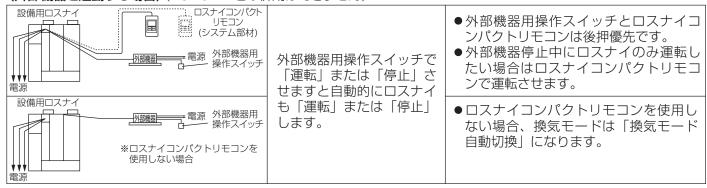
空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で、使いかたが異なりますので、下表に従って該当する 操作を行ってください。

- ●ロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ●ロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、使用できない機能があります。 (週間スケジュール、省エネ表示、ナイトパージ等)

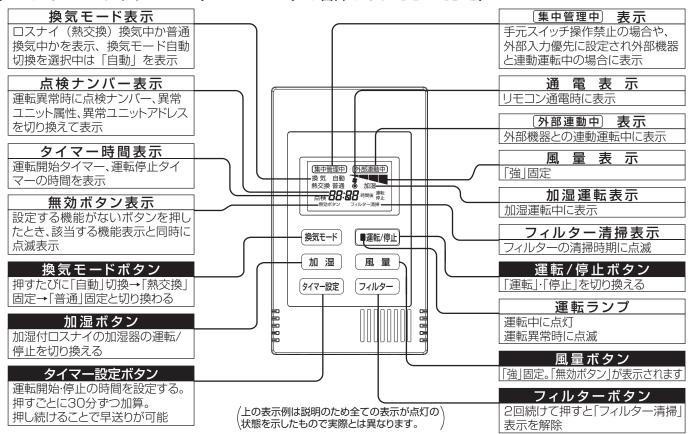
〈外部機器と連動しない場合〉(PGL-62DRとの併用はできません)

システム例	操作	機能説明
設備用ロスナイロスナイコンパクトリモコン (システム部材)電源	ロスナイコンパクトリモコ ンで運転させます。	●2台のロスナイコンパクトリモコンを接続しているとき、後押優先となります。

〈外部機器と連動する場合〉(PGL-62DRとの併用はできません)



〈ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF2)の各部のなまえとはたらき〉



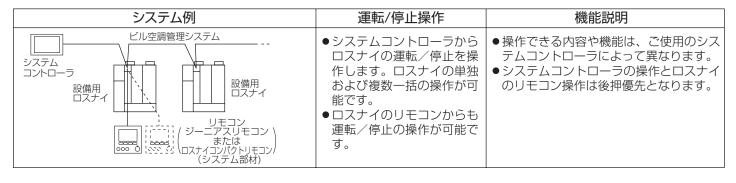
3 三菱マルチエアコンと連動する場合

- ●ロスナイを三菱ビル空調管理システム (MELANS) 内に組み込んで使用します。
- ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、各リモコンの取扱説明書および回または ②をあわせてご覧ください。

システム例	運転/停止操作	機能説明
マルチ エアコン 設備用ロスナイ マルチエアコン しまコン ののの 0	●マルチエアコンの運転/停 止に連動してロスナイも運 転/停止します。	●換気モードの操作はできません。 「自動切換」固定となります。●ロスナイの単独運転が可能です。
ビル空調管理システム マルチ エアコン マルチエアコン リモコン リモコン リモコン リモコン リモコン (システム部材)	上記のシステム例と同様にマルチエアコンとの連動、およびロスナイの操作を行うことができます。ロスナイのリモコンからも運転/停止の操作が可能です。	●ロスナイのリモコンから換気モードの操作ができます。●マルチエアコンのリモコン操作とロスナイのリモコン操作は後押優先となります。

4 三菱ビル管理システム(MELANS)で集中管理する場合

- ●ロスナイを三菱ビル空調管理システム内に組み込んで使用します。
- ●集中管理機器(システムコントローラなど)からロスナイの操作を行います。操作できる内容や機能は、ご使用の集中管理機器によって異なりますので、集中管理機器の取扱説明書をご覧ください。
- ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、各リモコンの取扱説明書および回または ②をあわせてご覧ください。



お手入れ [工事店様用]

ロスナイの機能低下を防ぐため、エアフィルター・ロスナイエレメント・加湿エレメント・ エリミネーターに付着したごみ・ほこりを定期的に清掃をしてください。 製品内にもごみ・ほこりがたまっている場合は、製品内も清掃してください。 また、霧や高湿度の外気を吸い込んだ場合、製品内部に水滴が付着することがあります。 水滴が付着している場合はやわらかい布等で拭きとってください。

目安 エアフィルター …………1年に1回以上

(または、ジーニアスリモコンの **|||||** 表示が点灯したとき* (ロスナイコンパクトリモコンの「フィルター清掃」が点滅したとき)

ロスナイエレメント ……2年に1回(できるだけ、1年に1回)以上

(または、ジーニアスリモコンの 表示が点灯したとき*)

ロスナイエレメント底面 …水が付着(溜まっている)していたらやわらかい布で拭いてください

加湿エレメント、エリミネーター… 1年に1回以上

(または、ジーニアスリモコンの まま 表示が点灯したとき*)

* ジーニアスリモコンの 表示が点灯したら、「メインメニュー」から「フィルター情報など」を選択し、清掃箇所を確認してください。

※加湿エレメント、エリミネーターのお手入れは、工事店様にご依頼ください。

お願い

- ●霧・もや・高湿度な空気を吸込むとエアフィルター、ロスナイエレメントから水滴が垂れて機外に水が漏れることがあります。製品内に水滴が付着している場合は製品内の水滴をふき取ってください。
- お手入れの際は指定の洗浄剤以外を絶対に使用しないでください。変形、割れ等の原因になります。
- 寒冷地・外風の強い場所や建物内が負圧になる設置環境の場合は、運転停止時に室内外の圧力差や外風により、高湿度空気等が侵入することがありますので、OA(外気)側および EA(排気)側に電動ダンパーもしくは電動シャッター(お客様手配)を使用してください。



お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る お手入れ中に保護運転がはたらくのを防ぐため。通電 状態では感電やけがをすることがあります。

注意

お手入れの際は手袋を着用する

着用しないとけがの原因になります

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う

落下によりけがをすることがあります

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります

フィルターの着脱には、保護具(メガネなど)を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります

■ロスナイエレメント、エアフィルター、加湿エレメント、エリミネーターの数は機種により異なります。 下表をご覧ください。

機種	ロスナイエレメント	エアフィルター	加湿エレメント	エリミネーター
LB-150KX5タイプ	3個	6枚	6個	6枚
LB-200KX5タイプ	4個	8枚	8個	8枚

■メンテナンスパネルのネジは下表の締付トルクに従い締めてください。

	数量	ネジ種類	締付トルク
加湿部メンテナンスパネル	14本	段付トラス小ネジ M4 × 18	1.42 ± 0.25N·m
エレメントメンテナンスパネル	16本	十字穴付ツマミネジ M5 × 18	2.74 ± 0.5N·m



脚立の用意

●脚立を用意する。

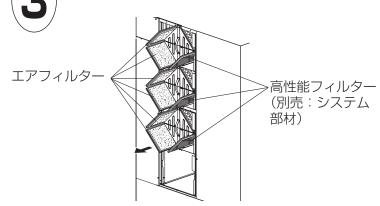
お願い

● 足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。



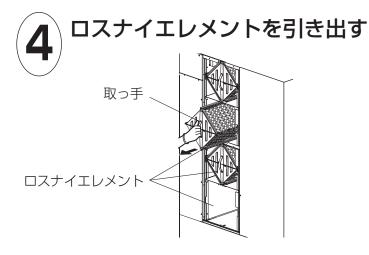
- 1. ツマミネジをゆるめる。
- 2. エレメントメンテナンスパネルを、上に持ち上げてはずす。

エアフィルター・高性能フィルターを引き出す



形名	エアフィルター枚数	高性能フィルター枚数
LB-150 タイプ	6	3
LB-200 タイプ	8	4

- エアフィルターはロスナイエレメント左側上 下に各 1 枚ずつ入っています。
- 高性能フィルターはロスナイエレメントの右 下側に 1 枚ずつ入っています。

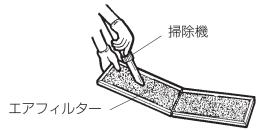


● 取っ手を持ち、本体から引き出す。 (ロスナイエレメントの数は機種により異なります) LB-150 タイプ……3 個 LB-200 タイプ……4 個

お手入れ [工事店様用] つづき



エアフィルターの清掃



- 1. 掃除機でほこりを吸い取る。
- 2. 汚れのひどい場合は、水または、ぬるま湯 (40°C 以下) に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

メモ

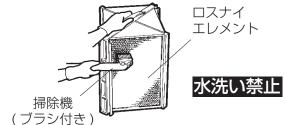
● 交換用のエアフィルターがシステム部材として、 用意されていますので古くなったエアフィルター は交換してください。

お願い

- ●熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
- ●直接火にあてて乾かすことはしないでください。
- エアフィルターを出し入れするときはロスナイエレメントの表面を傷つけないようていねいに扱ってください。
- エアフィルターは表示の向きに従って取付けてください。



ロスナイエレメントの清掃



●掃除機で表面のごみ・ほこりを吸い取る。 (掃除機のノズルは、ブラシ付きのものを使用し、 ブラシを軽くあてて清掃します)

お願い

- ●掃除機のかたいノズルをあてないでください。ロスナイエレメントの表面が傷つきます。
- ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。



高性能フィルター(別売 システム部材)の交換

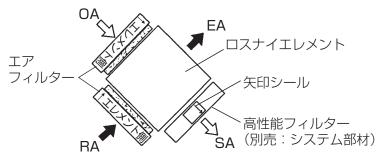
システム部材の高性能フィルターをご使用の際は、購入のうえ取付けてください。

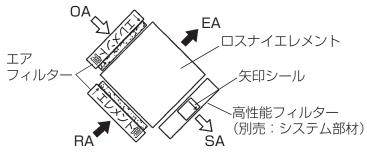
形名	高性能フィルター形名
LB-150 タイプ	PZ-N150LBFM2 (2セット必要、1 枚予備となります)
LB-200 タイプ	PZ-N150LBFM2 (2セット必要)

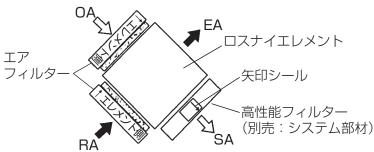


お手入れ後の組立て

フィルター取付位置







●取りはずしと逆の順序で取付ける。

エアフィルターは左図に示す位置に取付けて ください

↑エレメント側 の表示をロスナイエレメン ト側にします

- ●高性能フィルターはロスナイエレメント右下 側に矢印シールが手前になるよう(矢印の向きが右下側)取付ける。
- ●リモコンを使用の場合は清掃終了後、フィルターリセットを行ってください。

お願い

●エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。入れ忘れますとロスナイエレメントにごみが詰まり、機能低下の原因になります。

お願い

衛生的な空調を行うために、運転停止時に加湿エレメントが湿った状態で長時間放置されることは望ましく ありません。以下の運転を実施し、加湿エレメントをよく乾燥させてください。

- 加湿シーズン終了後や加湿シーズン中においても長期間(2~3週間以上)加湿機能を運転しない場合は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて製品本体内の水抜きを実施した上で、加湿「切」、「ロスナイ換気」運転で累計 3.5 時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
 - ・乾燥運転を行わないまま長時間放置すると異臭が発生する場合があります。
 - ・給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により電磁弁・ストレーナーが 破損し水漏れの原因となります。
- 製品を運転しない場合には、凍結防止のため水抜きの実施またはヒーターの電源を入れる等の処置をしてください。 (製品外部の排水弁を用いて、製品内の水抜きを実施してください)
- 加湿シーズン中(夜間)に、室内の他のマルチエアコンを全て停止し、ロスナイのみ運転する場合は、加湿を OFF して運転するようにしてください。室温が下がり、加湿により結露が発生するおそれがあります。 加湿 OFF のために以下のようにしてください。

マルチエアコン連動の場合:自動的に送風運転となります。

ジーニアスリモコン、ロスナイコンパクトリモコン使用時:加湿モード「停止」

保守点検〔工事店様用〕

長い間ご使用いただくため、1年に1回を目安に下記の点検を工事店にご依頼ください。 ロスナイを数シーズン使用すると内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したりご みやほこりなどによりドレンホースが詰まり、ロスナイから水漏れまたは、異常停止す ることがあります。

通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

- ■保守点検の際は、必ず本体の元電源をブレーカー等で遮断する。(点検中に保護運転がはたらく) のを防ぐため)
- ■加湿部の清掃時は、指定の洗浄剤以外は使用しないでください。

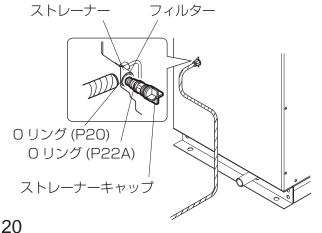
点検部品	保	保守を怠った場合		
	点検項目	処置方法	体引で応りに物口	
ストレーナー	ごみによる目づまりの点検	目づまりが生じている場合は洗浄	加湿能力低下	
ストレーノー	O リング亀裂の点検	亀裂が生じている場合は交換 ※注 1	水漏れ	
給水管	傷や水漏れの点検	傷や水漏れがある場合は部品交換	水漏れ	
給水電磁弁	水漏れの点検	水漏れがある場合は部品交換	水漏れ	
エリミネーター	ごみ・ほこり、蒸発残留物 による目づまりの点検	ごみ・ほこり、蒸発残留物を掃除機で吸い取る。汚れのひどい場合はぬるま湯 (40℃以下)で洗い、よく乾かす	風量低下 加湿能力低下	
ドレン皿	ドレン皿表面のごみ・ほこ り点検	付着している場合は、ふき掃除を行う	ごみ・ほこり・白粉の異 物室内落下	
	ドレン皿排出口のごみ・ほこり点検	排出口にごみ詰まりが生じている場合は ふき掃除または洗浄を行う	水漏れ 異常停止	
加湿エレメント	ごみ・ほこり、蒸発残留物 の点検	ごみ・ほこり、蒸発残留物で風路がふさがれている場合や、臭いが気になる場合は 22ページを参照し清掃・洗浄をする	風量低下 加湿能力低下 ごみ・ほこり・白粉の異 物室内落下、臭い発生	
サーミスター	目視点検	断線・ショートの場合は部品交換	省エネ低下	

※注 1 ······ 交換用 O リング: 市販品 P22A、P20

-ドレン皿・加湿エレメント・エリミネーターの清掃時の注意事項 —

- ●シンナー・ベンジンなどの溶剤や、指定以外の洗浄剤、ナイロンたわしなどは使用しないでください。 (プラスチックを劣化させます)
- ●切削油などの油が付着した場合には多量の水で洗い流してください。ドレン皿の汚れがひどい場合には 中性洗剤を使用し、その後十分に洗剤分を洗い流してください。(プラスチックを劣化させます)
- ●指定の洗浄剤以外や、40℃以上の湯は使用しないでください。(変形のおそれがあります)

の清掃のしかた



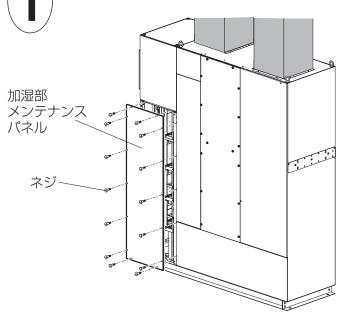
- 1.サービス弁を閉じる。(残留水の飛散防止のため) 2.メンテナンスパネル(加湿用)をはずす。(ネジ
 - 14本)
- 3.ストレーナキャップを反時計回りに回してはずす。
- 4.フィルターをはずして、内側に付着した汚れを水 で洗い落とす。
- 5.ストレーナキャップを取付ける。
- 6.メンテナンスパネル(加湿用)を取付ける。
- 7.サービス弁を開く。

お願い

●キャップは、水漏れしないよう確実に締め付けて ください。

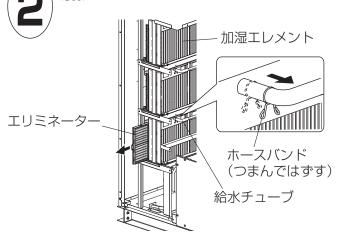
加湿エレメントの交換のしかた

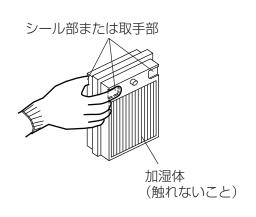
∕ ■ 加湿部メンテナンスパネルをはずす



●ネジをはずして、手前に引きはずす。

加湿エレメント、エリミネーターを引き出す





- 1.エリミネーターを取り出す。 (エリミネーターは連結されています)
- 2.手前の加湿エレメントに入る給水チューブをはずし、加湿エレメントを取り出す。
- 3.奥の加湿エレメントも同様に給水チューブをはずしてから取り出す。
- ■加湿エレメント、エリミネーターの数は機種により異なります。

機種	加湿エレメント	エリミネーター		
150 タイプ	6個	6枚		
200 タイプ	8個	8枚		

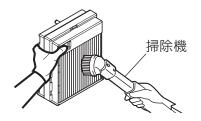
お願い

- ●加湿エレメントと一緒に給水チューブも引き出してください。(チューブ内部に残っている水をドレン皿に出してください)
- 給水チューブは、折り曲げ・引っ張りなどしない でください。
- ●加湿エレメントの引き出しの際は、加湿エレメントの「ここを持つ」表示がある取手部をつかんで引き出してください。加湿体(白色部)には触れないでください。(破損や水漏れの原因となります)

保守点検 [工事店様用] つづき

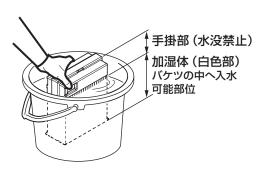
加湿エレメントの清掃のしかた

〈掃除機による清掃〉



加湿エレメント表面にごみ・ほこり、蒸発残留物が付着した場合は、掃除機で加湿エレメント表面を傷つけないよう吸い取る。

〈洗浄剤による洗浄〉



加湿運転時に吹出し空気の臭いが気になる場合、通常は加湿運転とともに臭気は減少するため、臭い低減のための加湿運転を長時間(1日ほど)行う。

それでも臭いが気になる場合や汚れがひどい場合は、洗浄剤(クエン酸または過炭酸ナトリウム)によるつけ置き洗浄を行う。 (洗浄剤による洗浄は、正しい方法で行わないと洗浄効果の低下や加湿エレメントの劣化、製品故障の原因となりますので、ご注意ください)

R50733710

R50733711

- 1.水またはぬるま湯に3Lあたりクエン酸20g (大さじ2杯)を溶かした洗浄液を用意し、加湿エレメント (高さ250mm、外寸218×116mm)が浸かるバケツ等の容器に加湿エレメントを入れ、用意した洗浄液を図の手掛部が水に浸からない高さ (高さ200mm)まで注ぐ。
 - ※クエン酸は弊社サービス部品または市販品(界面活性剤や香料等が含まれない単一成分のものに限る)をご使用ください。

※40℃以上のお湯は使用しないでください。やけどや部品劣化のおそれがあります。

- ※洗浄液を注ぐ際、図の手掛部が水に浸からないようご注意ください。(内部の給水部にごみが詰まり、性能低下の原因となります)
- 2.洗浄液に加湿エレメントを2時間つけ置きする(水温目安20~40℃)。
 - ※水よりもぬるま湯の方が、洗浄効果が高くなります。
 - ※水温が低い場合は、つけ置き時間を長くします。目安は15℃で3時間、10℃で4時間です。
 - ※洗浄液は使いまわしをせず、毎回新しいものをご使用ください。洗浄効果の低下や臭い移りの原因となります。
- 3.つけ置き後、加湿体が変形しない程度の水量で、加湿エレメントを流水でやさしくすすぎ洗いする。(すすぎ不足は加湿エレメントの劣化や製品の故障の原因となります)
- 4. クエン酸で洗浄を行っても臭いや汚れが気になる場合には、追加で、水またはぬるま湯に2Lあたり過炭酸ナトリウム 10g (大さじ1杯)を溶かした洗浄液を用意し、上記1から3と同様の方法で、つけ置きとすすぎ洗いを行ってください。
 - ※過炭酸ナトリウムは弊社サービス部品または市販品(界面活性剤や香料等が含まれない単一成分のものに限る)をご使用ください。

※クエン酸で洗浄を行っていない場合は、先にクエン酸で洗浄を行ってください。

サービス部品番号	正味量
R50733712	100g
R50733713	100g×10袋

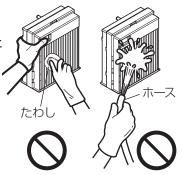
134g

134g×10袋

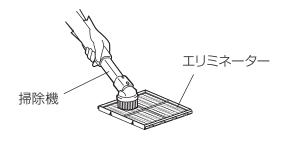
5.加湿エレメントを製品に取付後、加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」風量運転で3.5時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。(加湿エレメントを湿らせたまま放置すると、臭いが発生する原因となります)

お願い

- たわしでこすったり、ホースの水を直接かけたり、高圧洗浄機を使用しないでください。加湿エレメントが変形・破損するおそれがあります。
- ●掃除機で清掃してもスケール成分(白粉)は全て落としきれません。白粉の付着が多く加湿量が少ないと感じられる場合には、加湿エレメントを交換してください。交換時期の目安は26ページをご参照ください。
- 加湿エレメントは分解して清掃をしないでください。また、落としたり衝撃が加わらないようにしてください。(破損・水漏れ・性能低下の原因となります)
- 臭いの種類や付着量によっては、洗浄を行っても臭いが改善しない場合があります。その場合、 加湿エレメントの交換をご検討ください。
- 洗浄には、クエン酸と過炭酸ナトリウム以外の洗浄剤は使用しないでください。特に塩素系漂白剤は絶対に使用しないでください。有害ガスの発生や製品故障の原因となります。
- 洗浄剤の取扱いにあたっては、洗浄剤の容器に記載されている注意事項を必ず守ってください。
- 洗浄廃液は製品安全データシートを確認し、法の規定に従って処理してください。中和の際には、クエン酸10gに対し過炭酸ナトリウム15gを目安に混合し、市販のpH試験紙等でpHが6~8の範囲であることを確認してください。



エリミネーターの清掃のしかた



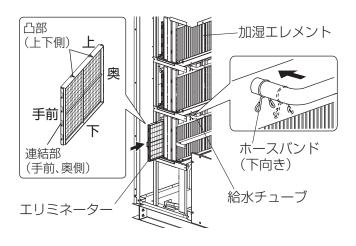
掃除機などでほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、 水またはぬるま湯(40℃以下)で洗い、よく乾かす。

お願い

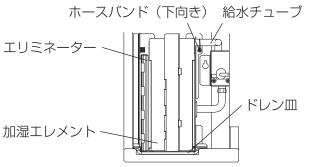
- ●水洗いしたエリミネーターは日陰で十分乾かしてください。
- ●ブラシやタワシを使用して洗わないでください。
- ●洗っても汚れが落ちない場合は、エリミネーターを交換してください。

保守点検後の組立て

1. 加湿エレメント、エリミネーターを取付ける



- 奥の加湿エレメントから順に、給水チューブを取付けながら入れる。
- ●下段にあった加湿エレメントを上段に入れ替え、ローテーション設置を行う。(不純物や混入物質の堆積を均一化させるため)
 - ※図は LB-150KX5 を示す。



- エリミネーター、加湿エレメ ントに倒れや傾き、ズレがな いことを確認する。(正しく取 付けられていないと、ごみ・ ほこりの異物室内落下や水漏 れの原因となります)
- 給水チューブ、排水チューブにねじれやはずれが ないことを確認する。(水漏れの原因となります)

2. 加湿部メンテナンスパネルを取付ける

● 取りはずしと逆の順序で行う。

保守点検後の確認

- 1.サービス弁を必要に応じて開けます。
 - 夏期は加湿を必要としない場合が多いため、サービス弁を閉じておくことをおすすめします。
- 2.冬期 (加湿時期)は凍結防止用ヒーターの工事がしてある場合はヒーターの電源が入っているか確認してください。
- 3.試運転を行い、水漏れがないことを確認してください。
- 4.洗浄を行った場合は、加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」風量運転で 3.5 時間以上送風機を運転し、加湿 エレメントの乾燥運転を行う。

「故障かな?」と思ったら

次のような現象が生じた場合は下表を参照してお客様自身で処置をしてください。

現象	原因の確認	処置方法
換気しない	●元電源が入っていない。	●元電源を入れる。
	●エアフィルター・ロスナイエレメント・ エリミネーターが目づまりしている。	●「お手入れ」に従って清掃する。
停止しない	●マルチエアコンとの連動で使用している 場合で、マルチエアコンが運転している。	●マルチエアコンの運転を停止する。
	●ロスナイが単独で運転している。	●機器を保護するための運転を行っている場合は、サイコン表示が出ていますので確認してください。
加湿しない	●給水されていない。	●サービス弁または元栓を開く。
	●加湿モードが「停止」になっている。	●加湿モードを「運転」または「自動」にする。
リモコンの表示が点灯	●元電源が切れている。	●元電源を入れてください。
しない		
運転ボタンを押したの に運転しない		
リモコンのタイマー運	●ジーニアスリモコンのタイマー設定が無	●タイマー設定を有効にしてください。
転セットができない	効となっている。	● ジーニアスリモコンではタイマー設定が有
		効なときはリモコンに 11 ページの⑨また は⑩表示が出ていますので確認してください。
吹出し空気が臭う	●運転開始時、製品内部にたまった外気由来の臭いが吹き出るためです。(特に加湿シーズン始めの加湿運転開始時に強く感じることがあります)	●(加湿運転時の臭いが気になる場合)通常は加湿運転とともに臭いが減少しますので、臭い低減のための加湿運転を長時間(1日ほど)行ってください。それでも臭いが気になる場合は、22ページに記載の加湿エレメントの洗浄を実施してください。

上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。 また、リモコンに何らかの点検コード表示(4 桁)が表われたときはその内容を、お買上げの販売店にご相 談ください。

次の場合は異常ではありません。

水が出る	●加湿運転中は滴下気化式のため、絶えず水がドレン排出口より出ます。
リモコンに"Please wait"の 表示が出る (ジーニアスリモコン)	●初期設定(約3分)を行っているためです。そのままお待ちください。 停電からの復帰時や、室外ユニットまたはロスナイの電源を入 / 切した場合 などに表示します。
運転 / 停止ボタンを押さないの に動きだした	 ●オンタイマー運転をしていませんか? 運転 / 停止、消忘れ防止ボタンを押して停止してください。 ●遠方コントロールが接続されていませんか? 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ●「
運転 / 停止ボタンを押さないの に停止した (運転しない)	●オフタイマー、消忘れ防止運転をしていませんか? 運転 / 停止ボタンを押して運転を再開してください。 ●遠方コントロールが接続されていませんか? 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ●「● 」アイコンが点灯していませんか? 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ●外気が低温時は一時的に運転を停止します。 ジーニアスリモコンご使用時、 サイコンを表示します。 運延設定されている場合は 30 分後に運転します。

アフターサービス

修理のお問合わせは別紙「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」記載の修理窓口までご連絡ください。 その他のお問合わせはお買上げの販売店か下記ご相談窓口までご連絡ください。

■ご相談窓口

平日 9:00~12:00、13:00~19:00 (土・日・祝及び当社休日以外)

三菱電機換気送風機技術相談センター 電話 0120-726-471 (無料)

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

異音がする、風が出ないなど異常があれば電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこのロスナイの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■メンテナンスについて

部品の交換時期はご使用条件によって大きく異なりますが主なメンテナンス部品の一般的な交換目安は以下の通りと考えています。(交換の目安は保証期間を示しているのではありませんのでご注意ください)

- ・ロスナイエレメント: 定期的な清掃が実施されれば 10 年程使用できます。
- ・エアフィルター:定期的な清掃が実施されれば5年程使用できます。

・モーター:30,000 時間 ・制御基板:25,000 時間 ・サーミスター:5年 ・ストレーナー:10年 ・電磁開閉器:10年

- 加湿エレメントの交換の目安について -

- ・加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。
- ・使用過程において加湿量が少なくなった場合は、加湿エレメントの交換をしてください。(お客様ご負担)
- ・交換の目安は下記の通りとなります。

	硬度 70 以下	硬度 100
交換の目安	4 シーズン(5,000 時間)	3 シーズン(3,750 時間)

- ●上記は使用シーズン(加湿運転時間)です。使用シーズン数、加湿運転時間のどちらかが上記に達する時間を交換の目安としてご検討ください。
 - [参考] 1日 10時間/日×125日/1シーズン=1.250時間/1シーズンのご使用を想定しています。
- ●供給水(水道水)中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合は、加湿エレメントの劣化が早まり、 加湿能力の低下、変色、白粉発生などがあらわれることがあります。
- ●外気の空気質や蒸発残留物の付着状況によっては、加湿エレメントに臭気が付着することがあります。
- ●交換の目安は、保証期間を示しているものではありませんので、ご注意ください。

仕 様

形	名	電源 (V)	周波数 (Hz)	消費 電力 (W)	定格風量 (m³/h)	温 度 交換効率 (%)	エンタ 交換効 暖房時	ルピー 率 (%) 冷房時	加湿量 (kg/h)	騒音 (dB)	最大負 荷電流 (A)	質量 (kg)
LB-150	KX5-50	3相200	50	1220	1500	70	69.5	67	3.4(7.8)	45	6.3	375
LB-150	KX5-60	3相200	60	1500	1500	70	69.5	67	3.4(7.8)	45.5	6.7	375
LB-200	KX5-50	3相200	50	1625	2000	70	69	67	4.6(10.4)	46	7.2	385
LB-200	KX5-60	3相200	60	2100	2000	70	69	67	4.6(10.4)	47	8.8	385

- ※ 熱交換効率は JIS B 8628:2003 の条件に基づいた値です。なお、温度交換効率は暖房時・冷房時の平均値を示しています。
- ※上記の値はロスナイ換気の場合を示します。
- ※騒音値は本体正面中央 1m・床上 1m の値です。
- ※加湿量は初期の値を示します。加湿量の()はロスナイエレメントでの湿度回収分を含んだ値です。
- ※上記の交換効率は、給気と排気の風量比や空気条件により変動します。詳細は、「三菱換気送風機総合カタログ」を ご参照ください。
- ※モーターブレーカーの選定は誤動作防止のために最大負荷電流の 1.2 倍程度を目安にしてください。
- ※電流、消費電力、交換効率、騒音は上記風量時の値です。
- ※表示加湿量は空気条件が室内 20℃・相対湿度 40%、室外 0℃・相対湿度 50%の場合です。

お安様	形 名				
の合体	お買上げ年月日		年	月	日
メモ	お買上げ店名				
サービスを依頼さ	(住 所)				
れるとき便利です。	(電話番号)	()		

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

(材質名は主材料にISO規 定の略号を使用

三菱電機株式会社